

平成29年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	鈴木健治
全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3516
事務事業名	11715 道路維持補修事業										
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課										
施 策	06033300 橋や道路整備の推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	080202 土木費・道路橋梁費・道路維持費									
	事業	030000 道路維持補修事業									
事業目的						事業概要・効果					
道路法に定める道路管理者として安全に配慮した維持管理を実施する。						建設から整備（作るから長く使う）に転換し、既施設の維持管理は今後益々重要度が上がるため、計画的な維持管理と緊急補修の対応により道路施設の長寿命化を図る。					

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
修繕工事(道路、側溝、水路、舗装等)	修繕工事(道路、側溝、水路、舗装等) 小規模工事発注97件
平成29年度 予定	平成30年度 予定
修繕工事(道路、側溝、水路、舗装等)	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		84,958	74,500
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	409	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		84,549	74,500
人員数(人)	正規職員	2.5	1.6
	嘱託職員	0.7	0.7
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	18,047.5	11,550.4
	嘱託職員	1,928.5	1,928.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	19,976.0	13,478.9
市民一人当たりの経費		2.0	1.7
総額		104,934.0	87,978.9

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	1,915	委託料
15節 工事請負費	77,056	修繕費
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	5,987	原材料費

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	1,500	委託料
15節 工事請負費	67,000	修繕費
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	6,000	原材料費

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	年々修繕箇所が増加し要望も多い。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	全体的な修繕計画を作成し予算確保する中修繕実施が必要。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	予算確保が難しい中、危険度、緊急度等により、優先順位をつけ実施している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
予算確保が難しい中、危険度、緊急度等により、優先順位をつけ実施している。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
各町からの修繕要望が多く寄せられる中、危険度・緊急性等から優先順位を決め、効率的に実施していく。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
各町からの修繕要望が年々多くなってきているが、計画的な維持管理と緊急補修の対応により道路施設の長寿命化を図る。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	